

ご自由にお持ち帰り下さい



## 求む相棒

皆を幸せにする仕事を一緒にやりませんか。…1

病棟でのカジマヤーのお祝い ……………2

大規模災害の備え ……………3

こころのサプリメント…困難の中で育まれるもの ……………4

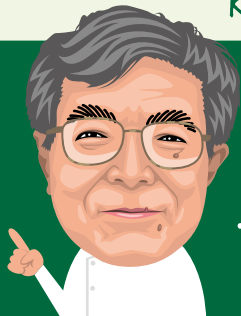
Medical Healthy Recipe…ヘルシータコライス……………4

ヘルパーステーション若松の紹介 ……………5

「ウムニー会」で健康祈願 ……………6

北中城若松病院 理念・基本方針 ……………6





## 求む相棒

皆を幸せにする仕事を一緒にやりませんか。

北中城若松病院 病院長 喜屋武 幸男

家族の愛情に包まれすくすく育つ乳幼児期、学びと悩みに翻弄されながら成長する青少年期、社会と家族のために頑張る壮年期、ゆったりと過ごす老年期、そして家族の愛情に包まれての穏やかな旅立ち。私たちの一生がこのようにいけばとても幸せな人生といえるでしょう。ところがそう簡単にはいかないのがまた人生なのですが、せめて最後の旅立ち前のひと時でも穏やかに過ごすことができればいいなと願うのは私一人ではないと思います。実はそれが今や大きな危機に瀕しています。

団塊の世代と呼ばれる方々の約800万人が75歳以上の後期高齢者となる2025年以後は日本人の3人に1人以上が高齢者となり、高齢者夫婦のみや高齢者独居世帯も著明に増加していきます。また2025年には認知症の人が730万人に達し、その後も更なる増加が予測されていますので介護をする家族への負担が急速に増大します。一方で看護職が10万人以上、介護士で37万人以上の不足も予測されており、昨今のコロナ禍も深刻な病院医療従事者不足にますます拍車をかけてきました。

少子高齢化の加速に伴う労働人口の減少や慢性的な人材不足はすでに医療福祉にも大きな悪影響を及ぼしており、病に

苦しむ方々やそのご家族へのきめ細やかな支えが今後益々困難な状況に陥ることは想像に難しくありません。

将来の医療福祉をできるだけ健全に保つためにも、また何よりも今この記事をお読みの貴方自身の穏やかな老後のためにも、現在の医療福祉体制が崩壊しないようにしっかりと支える必要があります。そこで多くの方々のご協力が必要です。医療職の資格を持ちながら様々の理由で現場から離れている方々や、また特に資格をお持ちでなくても人と触れ合う仕事・人の役に立つ仕事をしたいとお考えの方々に対して当アガペ会では復職・就職のハードルを下げる工夫や、それぞれの希望に合ったパターンでの就職支援も行っています。

医療・福祉は多職種の間がそれぞれの持ち味を発揮しながらのチームワークにより患者さんやそのご家族に寄り添った「小さな幸せ」を作り出してあげることのできるやりがいのある仕事です。特に人生の終盤で大変辛い状況に苦しむ方々にほんのひと時でも笑顔を取り戻す機会を作ってあげることができると医療者自身にも心からの笑顔が生まれます。この大切な社会的な役割を一緒に守っていきませんか。



個人の思いを  
大切に…

## 病棟での カジマヤーの お祝い

第6病棟課長  
小橋川 由美子

今回、腰椎圧迫骨折で第6病棟にリハビリ目的で入院されていたIさんのお話です。「昨年、コロナ禍でカジマヤーのお祝いが出来なかったことが心残り・・・とても残念だった。」と、話されていたとのことで、担当の療法士と病棟スタッフが協力し、Iさんのカジマヤーのお祝いを病棟内で開催することができました。飾り付けやお菓子の準備等を入院中の患者様と一緒に楽しみながら行い、Iさんが一つひとつ丁寧に作成した手作りの風車を患者

様とスタッフ全員にプレゼントして頂きました。

99歳とは思えないほど元気な方で、歩行器で歩行が出来るほど回復し、スタッフ一同大変喜んでます。Iさん自身もたくさんの方からお祝いのメッセージを頂き、これまで歩んできた長い人生を振り返りながら、大切な思い出として残すことができたようです。職員も長寿をあやかりながら、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。



当院の回復期リハビリテーション病棟は、身体機能の回復だけでなく、患者様一人ひとりの思いに寄り添い、喜びを感じてもらえるような関わりも大切にしています。これからも退院後の生活、充実した人生を送ってもらえるよう、先を見据えた関わりをチームで大切にしながら医療、ケアの提供を行っていきます。

写真はご本人の同意を得て掲載しております。



# 大規模災害の備え

若松苑事務課 係長代行  
友利 健作



能登半島地震により被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

昨年の県内紙で、政府の地震調査委員会が公表した南西諸島北西沖でマグニチュード7～7.5の地震が発生する確率は10年以内で30%程度、30年以内に60%程度、50年以内に80%程度と公表しています。けして対岸の火事とは言えません。特に医療・介護施設では、火災をはじめ地震や水害などの大規模災害への備えが必要不可欠です。

災害時には人命保護が最優先となります。まずは、患者様・利用者様・職員の安否を確認しての避難が重要です。一人ひとりの歩行状態やADLに合わせて避難のサポート、車椅子での避難や寝たきりの方の避難は、人手も時間もかかります。職員が焦ったり不安をあおるような言動をとったりすると混乱して避難行動の遅れに繋がります。予定していた避難経路を使えない事もあります。そのため、複数の避難経路を確認しておくこ

とが重要です。

災害発生時に最も重要なのが情報収集です。ライフラインの寸断が起こりうる緊急事態の中で、正しい情報を集めなければなりません。また備蓄も必要で、アガペ会では3日分を目安に常に備蓄しています。今後は一週間分まで備蓄を増やしていこうと考えています。

今回の若松苑の大規模災害訓練は『机上シミュレーション訓練』とストレッチャーによる『模擬避難訓練』を行ないました。



いざという時をイメージし、備えておくことが大切です。変化に耐えられる柔軟い考え方や発想を持って、災害等があっても乗り越えられる組織作り・地域作りをみんなで目指して行きましょう。

# 困難の中で育まれるもの

チャブレン室 金 知明

家で花や野菜を育て始めました。小さなスペースに鉢を置いて育てています。いくら心を込めて世話をしたからといって、イメージ通りの綺麗な花やたくさんの実がなるとは限りません。それぞれに最も適する手入れ方法・見頃の時期があるようです。みんな違う素晴らしさを大切に、まるで親のような気持ちで成長を見届けています。

雨風で茎が折れそうになったり、虫がついてしまったり、育てることの大変さとやりがいを感じています。私が世話をしているようで、実は私が育てられているのかもしれない。種を蒔き、苗を植えたその日から、何か問題が起きるたび、私と花や野菜の間に

は、信頼と愛が少しずつ築かれていくのです。

私たちのいのちは、神様の愛と計画にあります。花や野菜のように、人生の様々な出来事を通して愛と信頼が生まれ、今日を生きる力、明日への希望と繋がります。困難の中で心を包んでくれる愛、支えてくれる力がここにあります。

『明日のことを心配するのはやめなさい。神は明日のことも心にかけてくださるのですから、一日一日を力いっぱい生きなさい。』

マタイ6：34』



チャブレン室  
「こころのサプリメント」

Medical  
Healthy  
Recipe

## ヘルシータコライス

北中城若松病院 栄養課  
石垣 絵里菜 (管理栄養士)

みなさんタコライスは好きですか？タコライスは、メキシコの「タコス」をアレンジして生まれた沖縄発祥の料理です。今回は、大豆水煮を使用してお肉の量を減らし、カロリーダウンしつつボリューム感と満足感をキープしたレシピをご紹介します。



### <材料 (4人分)>

- 豚ひき肉 ……160g
- 大豆水煮 ……120g
- 玉ねぎ ……1/2個
- しいたけ ……4個
- オリーブオイル…小さじ2
- トマト ……1/2個
- レタス ……4枚
- チーズ ……40g
- ご飯 ……600g
- ◎合わせ調味料
  - ・ケチャップ：大さじ2
  - ・しょうゆ：小さじ4
  - ・酒：大さじ1
  - ・砂糖：大さじ2

### 【作り方】

- ① 玉ねぎはみじん切り。しいたけは石づきを取りみじん切りにする。レタスは千切りにし、トマトはへたを取り角切りにする。
- ② フライパンにオリーブオイルを熱し、玉ねぎとしいたけ、ひき肉を炒める。肉に火が通ったら、大豆、◎の合わせ調味料を加えて炒める。
- ③ 器にご飯を盛り、レタス→②の具材→トマト→チーズの順にのせたら完成。



## ヘルパーステーション若松の紹介



年をとっても、障がいをもっても、  
自宅で豊かに生活していけるよう、  
訪問介護(ヘルパー)が支援します。

管理者 町田 久美 (介護福祉士)

ご自宅で安心して過ごす為に、日常生活の中で難しいところ、ご家族だけでは介護が厳しい等、入浴介助や生活援助等、その方のニーズに合わせた支援内容で訪問させていただきます。住み慣れた環境や地域で過ごす為に、訪問する中で心掛けている事として、

- ご本人のできる事にヘルパーは手を出さず見守る事。
- 時には声掛け促し、心身能力の維持向上に努めています。

また、出来なくなってきている事に気づき、ご家族や関連機関と連携し、病気等の早期発見に繋げる事も、日々関わるヘルパーの役割の1つとして意識しながら訪問しています。

ご本人ご家族が、心も体も元気で過ごせるように、私達ヘルパーが数時間関わる事で、少しでも笑顔の多い日常が増えるように支援していきます。

### サービスについて

- 事業内容
  - 介護保険
  - 障がい福祉サービス (居宅介護・重度訪問介護)
- 訪問内容
  - 身体介護：入浴介助・排泄介助・食事介助)
  - 生活援助：調理・掃除・洗濯・生活用品の買い物)
  - 相談助言：生活や介護に関する事など
- 営業時間
  - 8：30～17：30 月曜日～金曜日 (土日祝日休み)
- サービス提供時間
  - 月曜日～日曜日 (祝日訪問します)
  - 7：30～19：00 (その他の時間は相談に応じます)
- 訪問地域
  - 北中城村、中城村、宜野湾市、沖縄市



### ヘルパーステーション若松

TEL：098-935-5202 FAX：098-935-5855 管理者：町田



# 「ウムニー会」で 健康祈願

認知症リハビリ課 主任  
瀬底 由紀子（作業療法士）



2024年1月17日、認知症治療病棟(第2病棟)での精神科作業療法で「ウムニー会」を催しました。翌18日は「ムーチーの日」となっており、実際にムーチーを作りたいとの想いもありましたが、嚥下が悪い方でも安心して食べられるようにと、月桃の葉の中身をウムニーにした「ウムニー会」となりました。

当日は女性患者さんを中心に実習中の看護学生にも参加して頂き、共同作業で賑やかにスタートしました。いざ作り始めるとさすがは大先輩の方々に、ウムニーも手際よく作り上げてくれました。「何十年ぶりに作るね〜」との声もあれば、「(芋) ちょっと食べてみようね」とつまみ食いをする方もおられ、笑顔多い楽しい会となりました。そして何と言っても醍醐味は「月桃の香り」。スパイシーで爽やかな甘味のある香りが漂うと、うちなーんちゅなら多くの方が温かな気持ちになるのではないのでしょうか。月桃の葉にのせ蒸された「ウムニー」からも待ちに待った香りが漂い、香りに誘われて来られる方々もちらほら。

健康祈願と共に1日早いムーチーの日を堪能することが出来ました。

## 北中城若松病院 理念・基本方針

### 【理念】

老いていく人たちに共感をもち、この方達の身体と心と魂をも、共に支えていける病院

### 【基本方針】

「何事でも自分にしてもらいたい事は、他の人にもそのようにしなさい」(聖書 マタイ7章12節)

1. 必要かつ十分な医療をめざします
2. 個人の尊厳を尊重した医療サービスをめざします
3. 療養生活すべてがリハビリテーションととらえ、療養者の豊かな生活実現のために努力します
4. 社会資源を十分に活用し、御家族、地域社会と協力連携を取ることで家庭復帰やより適切な生活の場を考えます



アガペ会理念

アガペ(神の愛)に生かされ、アガペ(神の愛)に生きる

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい(聖書 ヨハネ福音書13章34節)

《理念の意味》 アガペとは「神様の愛」というギリシャ語です。私たち職員は、神様と周囲の多くの方々に愛されて生きてきた事を感じ、神様が愛されている目の前の療養者・利用者とそのご家族の皆さんの幸せ、職員とその家族の幸せ、地域社会の方々の幸せを目指して医療とケアを提供していきます。

北中城若松病院

〒901-2395 沖縄県北中城村字大城 311  
☎/098-935-2277 FAX/098-935-2272

- 地域包括ケア病棟
- 回復期リハビリ病棟
- 認知症治療病棟
- 特殊疾患病棟
- 認知症デイケア あしやぎ

介護老人保健施設 若松苑

〒901-2314 沖縄県北中城村字大城 327  
☎/098-935-5858 FAX/098-935-5807

- 入所療養介護
- 短期入所療養介護
- 若松苑デイサービス
- 若松苑訪問リハビリテーション

地域医療包括ケアセンター

複合型高齢者施設 ふれあいの里 若松

〒901-2311 沖縄県北中城村字喜舎場 360-1

3F ..... サービス付高齢者住宅 アガペファミリー ☎/098-935-4165

2F ..... グループホームわかまつ ☎/☎/098-935-1021

1F ..... ファミリークリニックきたなかぐすく  
☎/098-935-5517 FAX/098-982-0708

通所リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-982-0717

訪問看護ステーション若松 ☎/098-935-5818

訪問リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-923-3154

B1F ..... ヘルパーステーション若松 ☎/098-935-5202

ケアプランステーション ゆい  
☎/098-935-3066・098-935-5968

地域医療包括ケアセンター事務所 ☎/098-935-3093  
クリニック以外の事業所の FAX は 098-935-5855 (共通)

看護小規模多機能ホーム若松 きたなかぐすく

〒901-2316 沖縄県北中城村字安谷屋 1346 番地 1 (1F)  
☎/098-982-0181 FAX/098-982-0183

グループホーム若松 ぎのわん  
デイサービス若松 ぎのわん

〒901-2201 沖縄県宜野湾市新成 1-20-6  
☎/098-892-5104 (グループホーム) FAX/098-892-5111  
☎/098-892-5105 (デイサービス) (両施設共有)

小規模多機能ホーム若松ぎのわん

〒901-2206 沖縄県宜野湾市愛知 2-3-2  
☎/098-892-1673 FAX/098-943-1085

宜野湾市地域包括支援センター ふてんま  
新オレンジサポート室

〒901-2202 沖縄県宜野湾市普天間 1-9-3  
☎/098-943-4165 FAX/098-943-4067 (ふてんま)  
☎/098-943-4085 FAX/098-943-4702 (新オレンジサポート室)

宜野湾市赤道老人福祉センター

〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道 1-5-17 ☎/098-893-6400

宜野湾市伊利原老人福祉センター

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐 4-3-17 ☎/098-890-7131

<https://www.agape-wakamatsu.or.jp>

※今号で使用している写真はご本人の同意を得て掲載しております

